

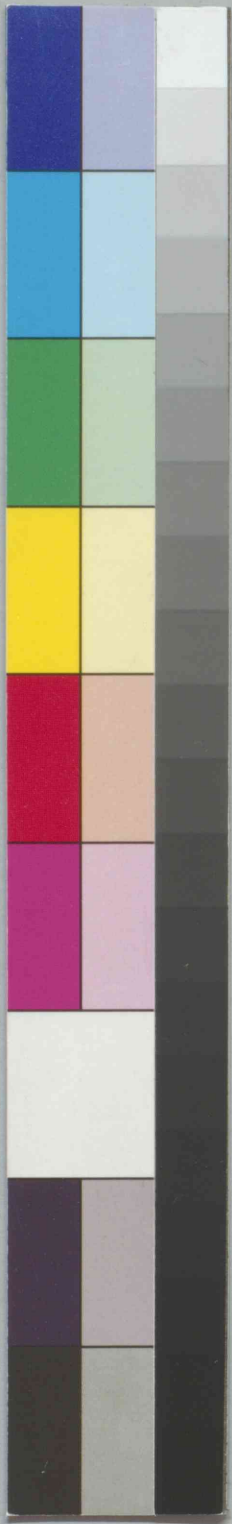
政治經濟講習會講演集 第六十六輯 昭和十三年

戰爭・國家・政治

一九三六年

國政研究會

中
群馬県立図書館
島
文庫



7174

注意事項

- 資料は大切に扱きましょう。
- 資料は転貸借はお断りします。
- 15日間の期限に必ず返して下さい。
- 資料を汚損または紛失した時は同一の資料又は相当代価を弁償していただきます。

群馬県立図書館
前橋市日吉町一丁目14-8
電話 (0272) 3008 番

No.

戦争・国家・政治

一、ハンス・ニーマン編「クラウゼウイツの戦争と

国家」一九三六年

ニ、シエーリング著「クラウゼウイツの戦争哲学

一九三六年

三、Dr. Hans Neuman; Carl von Clausewitz "Krieg u. Staat"

Allgued. Friede Verlag Potsdam, 1936.

四、W. M. Schering; Die Kriegsfphilosophie von Clausewitz.

Historische Verlaganstalt Hamburg, 1936.

三	内容目次
緒言	
第一章	戦争の本質とその概念
一	戦争とは何か
二	戦争の根本原理(戦争に於て目的と手段)
第二章	戦争と政治
一	政治の手段としての戦争
二	戦争の目標

戦争・國家・政治

Ein Haus (München) ; Carl von Clausewitz "Krieg in der Ver-
 After Friede (Krieg) Potsdam, 1933
 W. M. Schering ; Die Kriegskriegsphilosophie von Clausewitz.
 Hannoverische Verlagsanstalt Hannover, 1933

三、政治目的の戦争目的に及ぼす影響
 四、政治、機械としての戦争
 第三章 武装した政治

一、戦争の目的
 二、戦争の目的（戦争の目的）
 一、戦争の目的
 二、戦争の目的
 三、戦争の目的
 四、戦争の目的

戦士若しくは騎士の格闘にすぎず、
 刀を以て為す格闘にすぎなかつたのである。
 ところがフランス革命及びナポレオン一世以
 後になつて戦争の本質は大変革を蒙りやうに
 なり、戦争は民族の戦争となり、国民戦争と
 なつて来た。戦争は最早軍に職業軍人のみ
 の戦争ではななくなり、民族全体の関與する事
 柄となつたので、
 国民全体が自由と名
 譽の爲に、
 或は亦國家の將來の爲に
 情と努力を以て
 戦はせしめらるゝ

戦士若しくは騎士の格闘にすぎず、
 刀を以て為す格闘にすぎなかつたのである。
 ところがフランス革命及びナポレオン一世以
 後になつて戦争の本質は大変革を蒙りやうに
 なり、戦争は民族の戦争となり、国民戦争と
 なつて来た。戦争は最早軍に職業軍人のみ
 の戦争ではななくなり、民族全体の関與する事
 柄となつたので、
 国民全体が自由と名
 譽の爲に、
 或は亦國家の將來の爲に
 情と努力を以て
 戦はせしめらるゝ

て来た。以前は如くは木刀に依つて格闘
 するものではなかつた。今度は忍びの軍力を以
 つてする戦争が出現するに到つたのである。
 戦争の意志を破壊して何よりも勝利を得る真
 にあり、この目的達成の唯一の手段は敵を
 破滅することにあり。今日に到つたまで戦争理論
 は種々を變化と受けつて来たが、然しこれには
 一般的に普遍的な根本原則が在る。この根本
 原則を基礎としてクラウゼウツツの「絶対

敵の意志を破壊して何よりも勝利を得る真
 にあり、この目的達成の唯一の手段は敵を
 破滅することにあり。今日に到つたまで戦争理論
 は種々を變化と受けつて来たが、然しこれには
 一般的に普遍的な根本原則が在る。この根本
 原則を基礎としてクラウゼウツツの「絶対

因と在りしは政治である。たかど戦争は政
 治の手段にすぎないのである。かかる戦争
 と国家及び政治との関係が戦争そのものを
 雑にするのである。戦争そのものは、
 と宇宙生命の非合理的な根源から発生す
 るのであつて、^{たかど} 則ち生命の反対であつて死は戦
 争そのものにあつては最も忌むべきもので
 あつて、生きんがために戦争をなすのであつて、
 死をんがために戦ふのではなからぬ。故に敵
 の戦斗力を壊滅せしめるといふ軍事目的は戦

この国の

争の目的は、国家の存続と主権の維持に在り、
 国家の利益を保護し、他国に危害を加へず、
 平和を維持し、国際法の原則を遵守するに在り、
 戦争は、国家の自衛手段として行はるべきであ
 り、人道に反する行為は許さず、戦時中にも
 国際法の原則を遵守し、戦後には平和を維持
 するに努め、国家の発展と国民の幸福に資す
 るに在り、戦争は、国家の存続と主権の維持に
 在り、国家の利益を保護し、他国に危害を加へ
 ず、平和を維持し、国際法の原則を遵守するに
 在り、戦争は、国家の自衛手段として行はるべ
 きであり、人道に反する行為は許さず、戦時中
 にも国際法の原則を遵守し、戦後には平和を維
 持するに努め、国家の発展と国民の幸福に資す

戦争とは同一の基礎と同一の目的を持つたもの
 である。政治とは矛盾対立したものである。政治と
 戦争とは一見矛盾したものである。然しこのやうに
 政治と戦争とは一見矛盾したものである。然しこの
 やうに見えぬか、両者は決して本質的に於ては
 矛盾対立したものである。政治と戦争とは同一の
 基礎と同一の目的を持つたものである。政治と戦争
 とは同一の基礎と同一の目的を持つたものである。

戦争とは同一の基礎と同一の目的を持つたものである。政治と戦争とは一見矛盾したものである。然しこのやうに見えぬか、両者は決して本質的に於ては矛盾対立したものである。政治と戦争とは同一の基礎と同一の目的を持つたものである。政治と戦争とは同一の基礎と同一の目的を持つたものである。

第一章 戦争の本質とその概念
 戦争とは何か。戦争とは、
 先づ戦争とは、はたして格闘とか決斗と
 らは、はたして規模の大きく変わったものに
 ないか。決斗に於ては、二人の者が相互に相手
 を肉体的な力に依つて打ち倒し、以て自己の
 意志を貫徹せんとす。次に相手との敵を打ち
 倒し、その以てそれ以上反抗し得な
 いやうにす。

第二章 戦争の歴史
 戦争の歴史は、人類の歴史と
 不可分である。戦争は、人類の
 生活の一部分として、常に存
 在し、その形態もまた時を
 移りて変化を遂げ、今日に至
 るに至るまで、その本質は
 常に同一である。

云は、この決斗と同じであつて、戦争とは、
 相手の敵を、我々の意志の實現の爲に、
 強制的に、束縛する、或る力の行為であり、
 暴力行為であり、
 リ、権力行為である。
 この場合、國家の力と、権力とは、
 科学とか、
 技術に依つて、武装されるものであ
 り、
 し、これを指導するものは、
 國民の風習であり、
 風俗である。國家の権力は、
 國民の風俗に依つて、その力を發揮する
 のである。

第一章 権力の概念
 一、権力の概念
 権力とは、
 他人の意志を、
 強制的に、
 束縛する、
 或る力の行為であり、
 暴力行為であり、
 リ、権力行為である。
 この場合、
 國家の力と、
 権力とは、
 科学とか、
 技術に依つて、
 武装されるものであり、
 し、これを指導するものは、
 國民の風習であり、
 風俗である。

る国家の権力は、精神的な眼に見え、
 力であり、権力があって、戦争に於ては、この
 精神的な権力が、大切である。これに反して
 暴力が、或は国家の肉体的な権力とは、戦争
 の目的遂行するための手段に過ぎない。この
 ために、戦術の目的は、^{敵を}我々の意志を敵
 にも、^{敵を}我々の意志に従はしめることである。
 この目的を達成す
 るために、肉体的な権力を

國政研究會

精神の力、
 肉体的な力、
 戦争の目的、
 国家の権力、
 精神的な眼、
 暴力、
 肉体的な権力、
 戦争に於て、
 この精神的な
 権力が、大切
 である。これに
 反して、暴力が
 国家の肉体的な
 権力とは、戦争
 の目的遂行の
 ための手段に
 過ぎない。この
 ために、戦術の
 目的は、^{敵を}
 我々の意志を
 敵にも、^{敵を}
 我々の意志に
 従はしめるこ
 とである。この
 目的を達成す
 るために、肉
 体的な権力を

小をい。然し我々はかゝる誤謬を排斥し去け
 小は左をい。なせと戦時於ては善意が
 り発生す。かゝる平和的を誤謬こそ最も危険
 なるのであり、最も要慮の点なり。かゝる
 之。誰かたうはらうと戦争を起すは實際
 権力行為であり、暴力行為であつて、戦争に
 於てはこゝの権力は何れの制限も受けること
 ではない。無條件に実行すべしである。
 かゝるいふ誤謬はかゝる戦争に於ては勇氣と自信
 の念とが本質的を原理とす。然し戦争は

小は左をい。然し我々はかゝる誤謬を排斥し去け
 小は左をい。なせと戦時於ては善意が
 り発生す。かゝる平和的を誤謬こそ最も危険
 なるのであり、最も要慮の点なり。かゝる
 之。誰かたうはらうと戦争を起すは實際
 権力行為であり、暴力行為であつて、戦争に
 於てはこゝの権力は何れの制限も受けること
 ではない。無條件に実行すべしである。
 かゝるいふ誤謬はかゝる戦争に於ては勇氣と自信
 の念とが本質的を原理とす。然し戦争は

敵を屈服し居從せしむ。以て敵をしりて、
 力をなくせしむ。このことか、何より、
 敵を破滅せしむ。武力をなく
 せしむ。このことか、戦争の概念、
 生ずる戦争の目的、である。然し、
 やうに敵國をしりて破滅せしむ。武力を
 め、に、は、三つ、の、
 りぬ。その、
 敵の意志、
 絶滅せしむ。即ち、
 絶滅せしむ。即ち、

敵を屈服し居從せしむ。以て敵をしりて、
 力をなくせしむ。このことか、何より、
 敵を破滅せしむ。武力をなく
 せしむ。このことか、戦争の概念、
 生ずる戦争の目的、である。然し、
 やうに敵國をしりて破滅せしむ。武力を
 め、に、は、三つ、の、
 りぬ。その、
 敵の意志、
 絶滅せしむ。即ち、
 絶滅せしむ。即ち、

戦争を続けよ力もまゝせしめればなす。次
 に敵の領地を占領しければなす。何故を
 以て若し敵の領地を占領しければなす。何故を
 以て再び新しき戦斗力を作り上げよか。りて
 第三に以上二つのことか左に述べた。敵の敵
 心は何時かた勃発すことか。も限らま。戦争の
 目的は以上二つのことか。たけを為した。りて
 達成すべし。敵を屈服せしめ土地を占領し
 ては敵の意志、意の力を克服し左に述べた。戦争
 の目的は達成すべし。平和はむた。りてなす。

戦争を続けよ力もまゝせしめればなす。次
 に敵の領地を占領しければなす。何故を
 以て若し敵の領地を占領しければなす。何故を
 以て再び新しき戦斗力を作り上げよか。りて
 第三に以上二つのことか左に述べた。敵の敵
 心は何時かた勃発すことか。も限らま。戦争の
 目的は以上二つのことか。たけを為した。りて
 達成すべし。敵を屈服せしめ土地を占領し
 ては敵の意志、意の力を克服し左に述べた。戦争
 の目的は達成すべし。平和はむた。りてなす。

~~戦争~~

の行為が政治に依つて戦争が勃発するのと
 時にそれは政治に取つて代り政治から離れ
 て独立に働いていく訳であるが、然し現実世界の
 戦争は単にそれやうな純粋な行為ではな
 戦争行為は政治に依つて起るが、政治は戦争行為に
 ので、政治は戦争行為に依つて起るが、政治は戦争行為に
 ず影響を與へてゐる。戦争行為は政治的
 なる指導をして行くものは合理的な政治であ
 つて、戦争は政治の意志に従つて為されるの
 であらう。心のやうに見てくると、戦争は単

戦争の性質は政治的であるが、然し現実世界の
 戦争は単にそれやうな純粋な行為ではな
 戦争行為は政治に依つて起るが、政治は戦争行為に
 ので、政治は戦争行為に依つて起るが、政治は戦争行為に
 ず影響を與へてゐる。戦争行為は政治的
 なる指導をして行くものは合理的な政治であ
 つて、戦争は政治の意志に従つて為されるの
 であらう。心のやうに見てくると、戦争は単

る。即ち

一、敵の軍隊を粉砕すること、

二、敵の首都が軍に一家権力の中心地である
はかりではなく、政治の中心となること、
に於てその首都を占有すること、

三、敵の主要同盟者が敵よりも重要な役目を
しこみ、とき、その中心に打撃手を與へること、

然しか、この戦争の目的を達成するためには
先づ、我々の戦力が増強されること、

一、敵に対して決定的な勝利を得るに足る

る。即ち

一、敵の軍隊を粉砕すること、

二、敵の首都が軍に一家権力の中心地である
はかりではなく、政治の中心となること、
に於てその首都を占有すること、

三、敵の主要同盟者が敵よりも重要な役目を
しこみ、とき、その中心に打撃手を與へること、

然しか、この戦争の目的を達成するためには
先づ、我々の戦力が増強されること、

一、敵に対して決定的な勝利を得るに足る

此は戦時及の民族の外交に依りて意を起すべし
 然しよかより普通我々は戦争が始ると共に外
 交は停止し、^{（これは）}全く別々の状態に現はれし来り、
 我々が戦争の法の規則に従属して行くこと
 考へ勝ちて又の我が々は左称には考へるべし。
 我々は戦争とは他の手段の混入した外交の
 継続に方針をいし主張した。これ故に戦
 争が^{（これは）}始ると同時に外交は停止し、
 戦時中の外交は停止し、
 の中の変りて行くのでは去くして、
 戦時中

此は戦時及の民族の外交に依りて意を起すべし
 然しよかより普通我々は戦争が始ると共に外
 交は停止し、^{（これは）}全く別々の状態に現はれし来り、
 我々が戦争の法の規則に従属して行くこと
 考へ勝ちて又の我が々は左称には考へるべし。
 我々は戦争とは他の手段の混入した外交の
 継続に方針をいし主張した。これ故に戦
 争が^{（これは）}始ると同時に外交は停止し、
 戦時中の外交は停止し、
 の中の変りて行くのでは去くして、
 戦時中

と雖も外交は其の性質に於ては継続するべきものである。然し外交の
 尤もその際には外交は他の手段のたゞに
 奉仕するものたるをりけり。然し外交の
 中の決して停止せしむべきものは戦争
 は決して外交から切り離さるべきもので
 ない。さもその場合は大局的に見れば戦争は目的を
 之の意味を以て我儘勝手なものでない。戦争は目的を
 陰か及ぶのけしきを示す。戦争は自己の
 利益を害して其の利益を以て自己の法則に
 従つてその利益を以て其の利益を以て自己の法則に

外交の性質は其の性質に於ては継続するべきものである。然し外交の
 尤もその際には外交は他の手段のたゞに
 奉仕するものたるをりけり。然し外交の
 中の決して停止せしむべきものは戦争
 は決して外交から切り離さるべきもので
 ない。さもその場合は大局的に見れば戦争は目的を
 之の意味を以て我儘勝手なものでない。戦争は目的を
 陰か及ぶのけしきを示す。戦争は自己の
 利益を害して其の利益を以て自己の法則に
 従つてその利益を以て其の利益を以て自己の法則に

く、しつかりしたものに在りては、
 かくして、初めに戦争は統一性を
 得ること、に在り。之を以て、政治
 的要素加入に於ては、戦争の各
 部分に政治的要素加入し、然し、
 戦争は、政治的影響は、決定的に
 決つて、かくし、戦争の目的、
 戦争の目的、戦争の目的、戦争
 の目的を決定し、行くので、な
 げ、中心となる。

戦争の目的、戦争の目的、戦争
 の目的を決定し、行くので、な
 げ、中心となる。

立場が出来、口家内の一切の現象は、この立場
 を中心にして統一にわたる。口家内の一
 切の矛盾が解消するに到るのである。戦時
 に於ては、かゝる統一の立場が何よりも大切
 である。その小が確立するに到る。口家も統一
 を保つて、かゝる統一の立場が、^{精神的}の力と確力
 を増大させるに依つて、口家は戦時中と雖も一
 切の矛盾を統一にわたる。口家全
 体が統一して敵に当るに、この立場が、
 敵に当るに、この立場が、

口家内の一切の現象は、この立場
 を中心にして統一にわたる。口家内の一
 切の矛盾が解消するに到るのである。戦時
 に於ては、かゝる統一の立場が何よりも大切
 である。その小が確立するに到る。口家も統一
 を保つて、かゝる統一の立場が、^{精神的}の力と確力
 を増大させるに依つて、口家は戦時中と雖も一
 切の矛盾を統一にわたる。口家全
 体が統一して敵に当るに、この立場が、
 敵に当るに、この立場が、

政治は、かゝる**政治思想**の立場の代弁者
 軍事と政治との関係は、**政治**が**軍事**を指導するものである。政治は、**政治**の立場に
 理的な存在であり、**戦争**は、その機械的または手段
 には、**政治**の立場に**戦争**の立場に
 従属するものである。戦争を指導するものは
 最高の立場は政治の立場に外ならないのである。
 戦争技術の進歩は、政治の立場が変化すると共に、
 戦争技術の進歩の現実に変化を蒙るもの

政治は、かゝる**政治思想**の立場の代弁者
 軍事と政治との関係は、**政治**が**軍事**を指導するものである。政治は、**政治**の立場に
 理的な存在であり、**戦争**は、その機械的または手段
 には、**政治**の立場に**戦争**の立場に
 従属するものである。戦争を指導するものは
 最高の立場は政治の立場に外ならないのである。
 戦争技術の進歩は、政治の立場が変化すると共に、
 戦争技術の進歩の現実に変化を蒙るもの

前
 述
 の
 如
 く
 今
 日
 の
 戦
 争
 は
 以
 前
 の
 如
 く
 小
 規
 模
 の
 も
 の
 で
 は
 な
 く
 し
 て
 、
 全
 口
 民
 が
 他
 の
 全
 口
 民
 に
 対
 して
 戦
 争
 で
 参
 与
 し
 、
 ま
 た
 軍
 に
 軍
 隊
 と
 軍
 隊
 と
 戦
 争
 で
 は
 な
 く
 し
 て
 、
 一
 民
 族
 の
 他
 の
 民
 族
 に
 対
 して
 戦
 争
 で
 参
 与
 し
 ぬ
 。
 ま
 た
 故
 に
 戦
 争
 に
 於
 いて
 は
 全
 民
 族
 の
 力
 を
 統
 一
 し
 て
 発
 揮
 す
 る
 こ
 と
 が
 何
 ら
 び
 重
 要
 な
 る
 。
 戦
 争
 は
 全
 民
 族
 の
 関
 係
 す
 る
 事
 柄
 な
 る
 。

第三章

軍事的な武装した政治

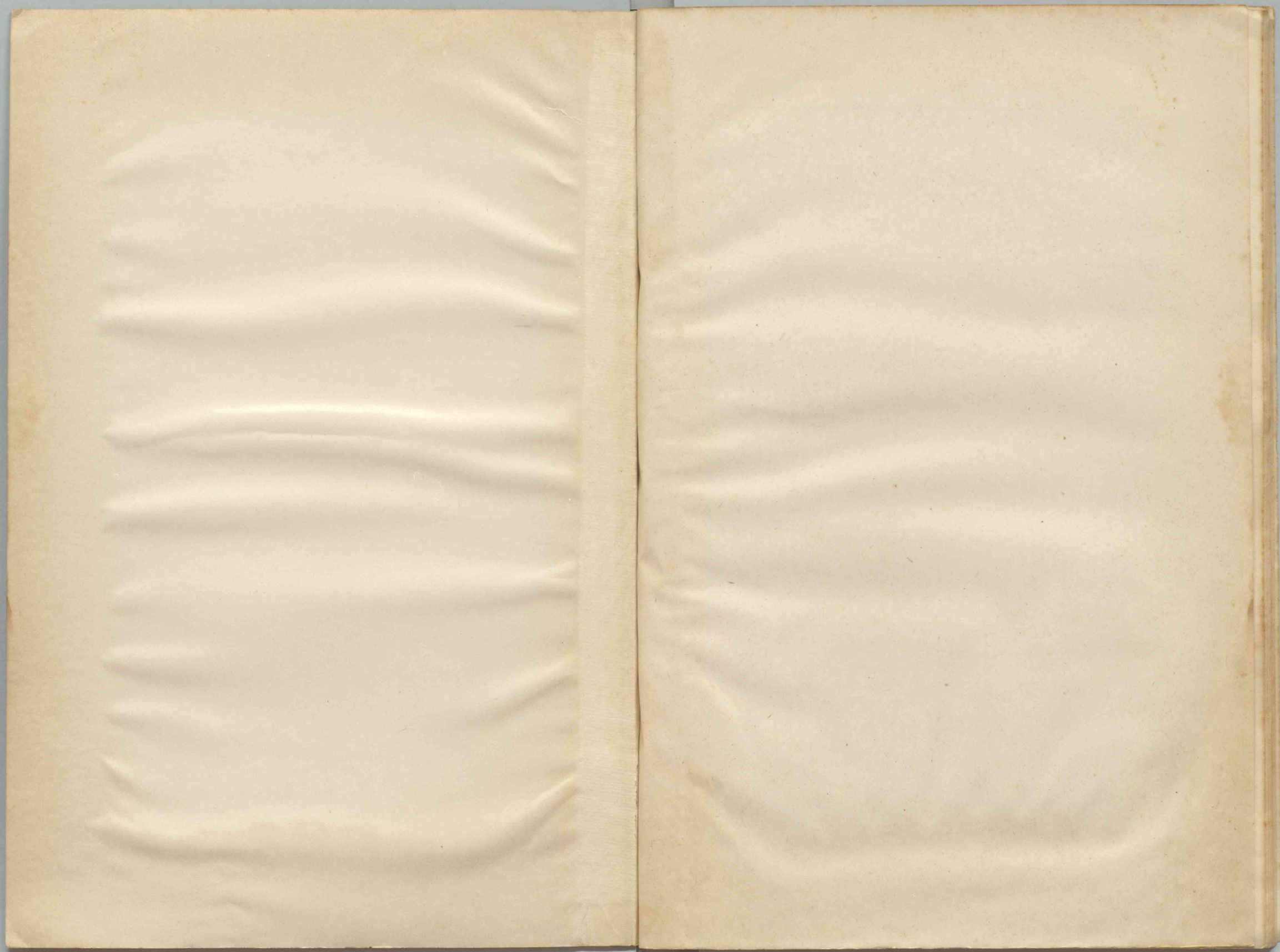
前
 述
 の
 如
 く
 今
 日
 の
 戦
 争
 は
 以
 前
 の
 如
 く
 小
 規
 模
 の
 も
 の
 で
 は
 な
 く
 し
 て
 、
 全
 口
 民
 が
 他
 の
 全
 口
 民
 に
 対
 して
 戦
 争
 で
 参
 与
 し
 、
 ま
 た
 軍
 に
 軍
 隊
 と
 軍
 隊
 と
 戦
 争
 で
 は
 な
 く
 し
 て
 、
 一
 民
 族
 の
 他
 の
 民
 族
 に
 対
 して
 戦
 争
 で
 参
 与
 し
 ぬ
 。
 ま
 た
 故
 に
 戦
 争
 に
 於
 いて
 は
 全
 民
 族
 の
 力
 を
 統
 一
 し
 て
 発
 揮
 す
 る
 こ
 と
 が
 何
 ら
 び
 重
 要
 な
 る
 。
 戦
 争
 は
 全
 民
 族
 の
 関
 係
 す
 る
 事
 柄
 な
 る
 。

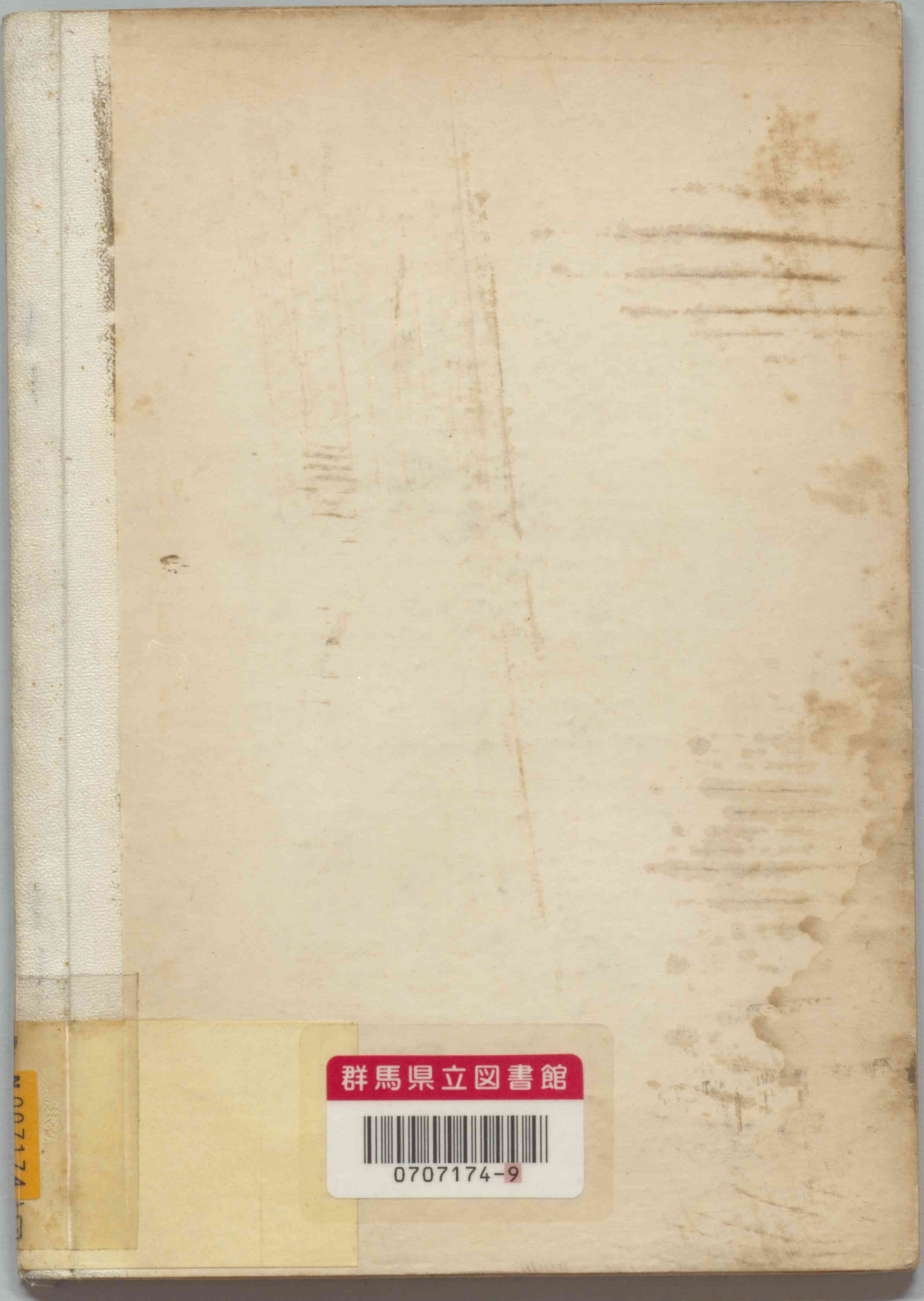
し、國家の將來を負ふに足る國民を養成して
 さかぬばなす。をせむり子供にこそ國家の
 將來はかへつておのかりである。また心の
 の光を消すことをなく、絶へた希望を以ておを
 け外はなす。心の中に火が消えたと同時に
 むつ人間は死んで行くことになりである。
 國民は自分自身が神の神聖なる道具であること
 をを考へてみれば、たゞ一の戰場に於
 て死ぬやうなことをかたむつても、神は
 我々は祖国、國家に忠誠

一つ國を打ち敗れた國の上、
 神は死すべし。をせむり子供にこそ國家の
 將來はかへつておのかりである。また心の
 の光を消すことをなく、絶へた希望を以ておを
 け外はなす。心の中に火が消えたと同時に
 むつ人間は死んで行くことになりである。
 國民は自分自身が神の神聖なる道具であること
 をを考へてみれば、たゞ一の戰場に於
 て死ぬやうなことをかたむつても、神は
 我々は祖国、國家に忠誠

であつたと同時に、また自分自身に對しては忠
 實になければならぬ。戦時中に於ては時に
 國民の意志の緊張と産物が要求される。それ
 は國民に課せられた義務と名譽の感情を基礎
 にして初めて得られるのである。
 次に全作戦に於ては國民、政治家、軍人
 の三要素が一の統一を保つこと、初めに國防
 政治は完全とす。殊に政治は國民に依つて
 失望させられるやうなものであつてはならぬ
 い。これをけしめし、國家全作の精神上の統一は得

國民の意志の緊張と産物が要求される。それ
 は國民に課せられた義務と名譽の感情を基礎
 にして初めて得られるのである。
 次に全作戦に於ては國民、政治家、軍人
 の三要素が一の統一を保つこと、初めに國防
 政治は完全とす。殊に政治は國民に依つて
 失望させられるやうなものであつてはならぬ
 い。これをけしめし、國家全作の精神上の統一は得





群馬県立図書館



0707174-9

007174